

あらぐさ

キャンプ

保健体育



in 朝霧高原

7月16日～18日の3日間、保健体育の選択授業のキャンプを朝霧高原野外活動センターで行いました。1日目のアイスブレイクは、班の交流を深めるためにキャンプ場内の森の中を巡りながら、カクセーから出されるお題にチャレンジし、頭体を使って交流を深めました。その夜は共立キャンプ恒例のほうとうを小麦粉から作りました。3年生が慣れた手つきで指導し、おいしいほうとうを食することができました。2日目はメインの3つのプログラムに分かれました。「毛無山登山」「マウンテンバイクのサイクリング」「東海自然歩道を歩く」コースに挑戦しました。4時出発のハードなプログラムを仲間と助け合いながら取り組み、全班がキャンプサイトに帰着したのは午後2時でした。本当に皆よく頑張りました。夕飯は各班の持ち寄りパーティーとなり、タコスライスや焼きそば、裏メニューなどオリジナル料理が並び、下鼓をうちました。今年のキャンプは電気やカマドが全くなく、テントも全て自分達で設営する等、難易度の高いものでした。テント設営、かまどづくり、火起こし、食事づくりと、不自由な生活を少しでも楽しく、快適な3日間となるよう、協力して乗り越えることができました。

今年のキャンプで、学生達はどんな自分に出会えたでしょうか？また仲間のどんな発見をしたでしょうか？（河西）

4月下旬、緑ヶ丘総合体育館で球技大会を開催しました。各学年の実行委員会が企画と運営を行ないます。種目はバレーボール、バスケットボール、ドッジボール、バトミントン、初の障害物リレーでした。障害物リレーは足つぼマットの上を走る「足つぼ」と、大きな袋に足を腰まで入れてぴょんぴょんとびながらゴールを目指す「カンガルー跳び」です。大いに盛り上がりました。各種目で熱戦が繰り広げられた結果、優勝3年生、準優勝2年生、3位1年生、4位は教員チームでした。実行委員会の皆さん、お疲れ様でした。（押領司）



雑草祭



さわやかな5月の青葉の季節に、第39回雑草祭(あらぐささい=学院祭)を開催しました。テーマは「The sky is the Limit ~無限の可能性~」です。テーマに相応しく、各クラス発表、バンド、お笑い等、いずれも高クオリティでした。特にクラス発表は趣向が凝らされ、一人ひとりの個性が充分に發揮されました。宮坂実行委員長(2年生)は「学生のみならず、訪れた方々も楽しみが共有できるような学院祭を目指す」と語り、そのコンセプトどおり誰もが楽しい時間を過ごしました。父母の会からは手作り豚汁が出されました。

1年生初めての臨地実習終える！ 1年担任：佐々木

2016年7月4～8日まで1年生にとっては初めての臨床実習を行いました。4月から勉強したことや、援助方法が患者さんに活かすことが出来るのか、快適な援助が提供できるのか、患者さんとコミュニケーションを行えるかと不安を抱えながら実習初日を迎ましたが、全員が遅刻・欠席なく5日間の実習を終了することができました。

疾患が日常生活に与える影響について考え、指導を受けながら学生同士のペアで、覚えたての援助を計画して提供し、次回はもっと快適になるように課題を追及することが出来ていました。また医療の中心は患者さんで、医療従事者がチームとして関わっていることを実感し、チームの一員になる一歩を踏み出し始めた自覚や、覚悟がまとめられていました。

実習のまとめの発表会では、自分たちが援助した方法を発表し合い、質疑応答をしました。その際のどこか誇らしげに発表する表情は、輝いているように感じられ、38期生が学校を離れて臨床の患者さんや医療従事者の方々に成長させていただいたことを実感しました。今後の成長を期待し、見守っていきたいと思います。



左：校内実習の様子
中：II（学生が患者役）
右：教室にて



実習や授業+α、2年生頑張っています。

2年担任：岩波



2年生は41名でスタートし、授業など課題に追われながらも楽しそうに毎日を過ごしています。6月13日から7月8日まで2年生になって初めての実習がありました。老年Ⅰ実習では、患者さんに「何か起きているのか?」「必要な看護とは?」と模索し、「対象に必要な看護を見出す」という大きな目標を達成することができました。小児Ⅰ実習では、毎日園児に交じって遊び、児の発達や安全を守ることの大切さ等を学ぶことができました。また、実習の合間に学内のカリキュラムでは学べない「わくわくゼミナール」と称して学生主体でチャレンジしました。リニアやハンセン病施設、科学館などに見学に行ったり、DVD鑑賞後意見交換をしたり、医療機器についてまとめるなどです。この5週間で人間的にも看護学生としも大きく成長することができました。

7月12日には成人看護学総論Ⅱの授業で、農家の方等ご協力いただき、労働体験を行いました。朝早くから桃やブドウの農作業やパン屋さんで働き、作業や会話などを通じて、授業の目的である「労働が健康に与える影響」について学ぶことができました。

学ぶ意欲や好奇心が旺盛な37期生は、仲間と共に学びあう姿勢を持っています。少しずつ後半の4ヶ月実習に向けての準備ができます。



密度濃いカリキュラムを乗り越えて仕上げへ

3年担任：鈴木

3年生は40名でスタートしました。4月からケース発表会、国家試験対策、社会福祉演習、最後の球技大会・雑草祭と、これまでにない過密なカリキュラムをこなしました。

5月末からは地域看護学実習Ⅰ（診療所）、精神看護学実習Ⅰ・Ⅱ（通所・病院）と4週間の実習を行いました。様々な患者さんと出会う中で、看護観を深め、一回り大きく成長する機会となり、これらの経験は、看護を広く学ぶことにつながりました。12月の卒業研究発表会ではきっとその努力の成果が現われると確信しています。御家族の皆様、是非おいで下さい。さらに3年生には【国家試験全員合格】という大きな大きな目標があります。その目標を達成するために、クラス目標は「国試全員合格～40の満開の笑顔を～」と掲げ、朝・昼・放課後に学生中心にグループ学習に取り組んでいます。グループ学習を通して仲間で教え合うことや、学ぶ・知ることの楽しさを実感している学生も少なくありません。しかし、国家試験に合格するにはまだまだ学習時間が足りません！閉校日以外は毎日当校し、補講やグループ学習、個別学習などなど…夏を制する者は国試を制する！と頑張っていきます。ご協力よろしくお願ひします！



学生自治会より



4月以降の取り組み

4月：入学式にコサージュを38期の新入生に送りました。その後、新入生歓迎会を開き、新入生と上級生の交流を図りました。

5月：雑草祭では、早期に選出した雑草祭実行委員を中心に準備を進め、一人ひとりが秘める可能性を存分に發揮し、その力を集約でき素晴らしい雑草祭を創り上げることができました。

6月：は相川の清掃を地域の方と協力して行い地域との交流を深めました。参議院選挙への投票を呼びかけました。

7月：は代議委員会を行い、1年間の活動報告、会計報告に不備がないか審議を行いました。また広島原水爆禁止世界大会に自治会から1年生2名を送るあたり募金活動を行い、全校で千羽鶴を折り平和への願を広島の地へ運んでもらえるよう2名の代表者に送りました。本校近隣の皆様、父母の会に皆様の御協力により、学生自治会として有意義な活動を行うことができました。ありがとうございます。

8月：19日には原水爆禁止世界大会参加の報告会、次期自治会役員選挙があります。

共立高等看護学院学生自治会
副会長 深澤大輔



上左：入学式コサージュ
中央：相川河川清掃草刈
下右：原水爆禁止世界大会
参加者と折鶴



〔1年生 藤井さん 田中さん〕

防災訓練実施7月22日

今回は、地震とそれによる火災発生を想定し、避難・初期消火・煙ハウス体験・通報・消火栓ポンプの各訓練を行ないました。甲府地区中央消防署の消防士さんより指導と講評煙を戴きました。一酸化炭素は血中ヘモグロビンと容易に結合して酸素を細胞に運ばなくなること、煙の中で患者さんを救出することは非常に困難であること等が話されました。初期消火の要点、通報時の心得等大いに学びました。教職員は放水訓練で水圧の強さを実感しました。次は、臨地実習中の災害発生を想定した防災訓練を11月に実施する予定です。



2016年度新任教職員紹介

着任の挨拶

副学院長 小泉京子

今年度4月より副学院長に着任した小泉です。私は、1989年から12年間本学で看護教員を勤めたのち、病院の看護師長、副総看護師長を合わせて14年間経験しました。看護学校から臨床に異動したばかりの時、当時の私を支えてくれたのは卒業生たちでした。今でも感謝の気持ちを忘れる事はできません。そして私は、幸運にも再び本学に戻ってくることができました。臨床に不慣れな私を支え、優れた実践者として患者に向き合っていた卒業生のように、人の気持ちのわかる、互いに支え合える看護学生を育てたい。そして看護を語りあいたいと思っています。講義や実習でお世話になる諸先生方、ご家族の方々、地域の皆さんなどたくさんの方々のご指導やご協力を得ながら、教職員一同力を合わせてより良い教育実践ができるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



佐々木あゆみ 1年生担任（専門領域：基礎看護学）

4月から共立高等看護学院で教務として働くことになりました。今まで病院で看護師として勤務してきたため、教員としての自分に慣れること、学生たちや学校行事を知ることから始めました。



周囲の助けを借りながら授業や校内実習、臨地実習を担当してきた中で感じたことは、新人看護師になるためには国家試験だけ合格すればいいのではなく、人間的にも大きな成長を伴いながら新人看護師という立場になること、またその成長は学生たちが憧れを実現するために、いろんな方々との出会いから多くのことを学び、時には自分と向き合うことも経験しながら、苦労をして入手した、大きな成果の結果であることを強く実感しました。いままでは病院に就職してきた新人看護師を引き受ける立場であったが、今後は病院に送り出す側になったため、学生達の言葉を聞き、人間的な成長を支援していきたい気持ちでいます。不慣れな点もあると思いますがよろしくお願ひします。

三満田美恵 英語講師・教務事務アシスタント

3子を出産後、戻ってまいりました。8歳と3歳のわんぱく盛りの男の子、1歳のおてんば娘を育てています。



普段は教務室で先生たちのお手伝いをしています。私にとって英語の授業は学生の皆さんと関われる貴重な時間なので楽しみにしています。英語が苦手な人も多いですが少しでも英語に前向きに、そして世界に目を向けるきっかけになれば良いなあと思います。

Great future ahead of you!!



私がお奨めする一冊

フィンランドには“ネウボラ”という出産・子育て家族サポートセンターがあり、世界的にも注目を集めています。“ネウボラ”とは“助言”という意味で、妊娠期から就学時まで、担当スタッフ（保健師や助産師）がすべての家族に切れ目なくサポートし家族を支えます。社会で子どもを育てるとは、こういうことではないかと思わせる一冊です！

日本社会では、子どもを育てるという豊かな営みが、孤独の中で行われていることが問題となっています。すべての母にとって、子育ての時間が豊かな時間となることは、助産師である私のねがいでもあります。社会福祉国家のフィンランドの子育てをのぞいてみませんか？

（河野頴那呼 教育活動調整専任教員）



ネウボラ フィンランドの出産・子育て支援

高橋睦子



ネウボラ＝アドバイス(neuvo)の場所

neuvola

日本ではじめて紹介・解説

出産・子育て家族サポートセンター

専門職が1人ひとりの健診で対話を重ね、母子と家族をサポートする地域拠点の制度です。

妊娠期から就学前まで
すべての家族を切れ目なくサポート

お母さん、安心して！

かもがわ出版



1年前、年長さんになった子どもに送った絵本です。5歳の子どもには難しい言葉と内容でしたが、原文をそのまま読み聞かせました。長い時間でしたが、じっと聞いていました。感想を聞くと「う～ん、むずしい。幸せが大切ってことだね」と一言。便利な世の中を求め、利潤追求のために先進国が作ったものは、競争社会、格差社会、市場主義が生んだ大量生産・大量消費、環境破壊 etc.。この本は、人間にとって本当に大切なものは何かを教えてくれます。「命よりも大事なものはありません。」「幸せこそがもっとも大切な宝です。」と。子どもなりに何かを感じ取ってくれるだろうと、これから



ら子どもと一緒に読み続けたい一冊です。

（梶原奈津子 実習調整専任教員）

教員も、実習指導者さんも学びます！

実習指導者研修会開催

テーマ：「学生の多様なニーズをとらえ、看護を学ぶ学生に共感し共に育つ実習指導」

7月28日、本校講堂において共立病院などの本校の臨地実習場の専任実習指導者の皆さんと本校教員を対象に研修会を開催しました。臨地実習がよりよいものとなるように毎年、本校が開催しています。実習指導者の方から「自己の看護観を振り返る機会となり、学生さんにも伝えたい」「他者の看護観や価値観に触れ、視点の幅が広がった」「自分を知ってもらうこと、相手を知ること、実習しやすい環境を作ることの大切さを再認識した」等の感想が出されました。学校と臨地実習場が一貫した理念のもとに教育活動が行なえる良さを活かして隣地実習場と更に綿密に連携します。

講演と演習指導：吉田文子氏（佐久大学看護学部助教授）



教員の研究・研修活動

- | | |
|-----------------|---------------------------------------|
| 5月 18日 | 基礎から学べる医療安全……………藤本 |
| 7月 23～24日 | 日本老年看護会……………岩波 |
| 7月 30日 | 社会人経験を持つ看護職の受け入れ方のコツを学ぼう(看護協会) ……河野 |
| 8月 18～19日 | 日本看護学校協議会……………河野、宮川 |
| 8月 22～23日 | 日本看護学校教育学会……………塩澤、藤本、鈴木 |
| 8月 20～21日 | 日本看護研究学会……………押領司 |
| 10月 23～24日 | 全日本看護活動研究交流集会……………塩澤、佐々木 |
| 10月 29日 | 糖尿病患者を正しく理解
～明日から実践できる療養指導～……………鈴木 |
| 11月 29日、12月 13日 | 在宅に向けての退院支援……………宮川 |
| 12月 15日 | 看護者としての倫理的感性を磨こう！……………河西 |



父母の会より

■経過・予定

- 4月 ・入学式・2016年度総会・病衣セット1年生に贈呈
- 5月 ・雑草祭にて手作り豚汁を販売
- 7月 ・入学記念写真1年生に贈呈
・2,3年生合同部会開催・2016年度第一回役員会
- 8月 ・原水爆禁止世界大会参加学生への補助
・年度会費5000円納付通知発送
- 11月 ・1年生戴帽式 記念品贈呈予定



[豚汁作り 5/13]

■2,3年生合同部会 (7/26 御家族23名出席)

学校より4月からの活動と学生状況、国家試験対策が報告され、下記4点の家族サポートのお願いがありました。

- ①規則正しい生活 ②学習時間確保 ③精神的サポート ④経済的サポート

■7/26 第一回役員会 (役員16名出席)

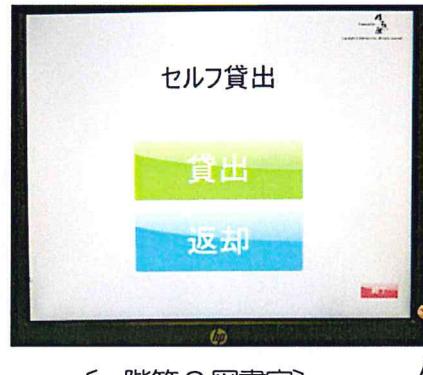
1. 1年生戴帽式へナースウォッチ寄贈.
2. 2年生実習激励・成人祝い記念品は図書カード.
3. 3年生国家試験学習の応援は1~2月に豚汁
4. 共立高看及び同学生自治会からの相談事項
 - (1) 寄贈: 1年生一実習用病衣セット (承認)
 - (2) 課外活動補助費より原水爆禁止世界大会参加費用補助. (承認)



■2016年度父母の会会費の納入を御願いいたします。詳しくはお送りする通知をご覧下さい。

図書貸出システム更新

セルフ貸出ができる様になりました。近日中に使い方をお知らせします。



7月～12月の予定♪

- 7月 12日 労働体験演習
- 7月 16日 保健体育キャンプ演習
- 7月 22日 近隣道路清掃、防災訓練、終業
- 7月 29日 オープンキャンパス
- 8月 2, 9日 オープンキャンパス
- 8月 19日 学生自治会選挙
原水爆禁止世界大会報告
- 8月 22日 3年生実習
- 9月 15日 3年生キャリアガイダンス
- 9月 23日 前期期末試験
- 10月 14日 高校推薦入試・社会人入試
- 10月 24日 2年生実習
- 11月 12日 38期生戴帽式(本学講堂)
- 12月 13, 14日 卒業研究発表会
- 12月 18日 冬期休業
- 12月 25日 スキー実習(～27日)

編集後記 4月から様々な経験をして、気が付ければ梅雨も明け、本格的な夏に突入しましたね。国家試験の夏、アルバイトの夏、リフレッシュの夏！学生皆さんそれぞれ健康に留意してお過ごし下さい。
オバマ大統領の広島訪問で平和への関心が高まっています。学生代表が広島に出発します。御志を戴きました飯田東部自治会の皆様に厚くお礼申し上げます。

(編集委員 S)